

7月20日(木)、中国地方は梅雨明けとなりました。平年より1日遅く、昨年より6日早いということですが、心なしかカラッとした空気感が漂っているように思います。

本校は19日(水)が終業式でした。3か月半の1学期を終えましたが、どの場面でも”4年ぶり”という言葉が使われるように、コロナ禍前の日常に回復しつつあった1学期でした。特に文化祭での賑わいは、そのことを象徴するかのような行事となりました。すでに夏休みに入っていますが、いつもの学校生活と変わらぬほど、校内はたくさんの生徒が補習授業や進学補習、クラブ活動に取り組んでいます。

1学期を振り返り、生徒の成長が見え隠れした7月16日(日)の中学校オープンスクールのこと、普段生徒に伝えている心構えについてまとめて表したことについて触れます。



(学校紹介をしてくれた中学3年生の男子生徒)

Be Myself

「Be Myself」とは、「自分らしく」ということ。この言葉がぴったりだと思えたときがありました。それは、本校中学生の見事な成長ぶりに出会えた7月16日(日)の第1回中学校オープンスクール(以下、OS)でのことです。このOSには、中学生約90名がボランティアとして午前午後2回の運営にかかわってくれました。受付、校舎案内、体験学習補助、部活動体験、ステージでの学校紹介、部活動紹介、そして、司会などと様々な場面でOSを支えてくれました。どの生徒も協創中学校を知ってもらうために笑顔を決やさず、前向きに取り組んでくれました。

中でもステージでの学校紹介と部活動紹介は、生徒自身でシナリオを考え、どうしたら小学生に分かってもらえるか、打ち合わせやリハーサルを重ねて本番を迎えました。学校紹介には5人の生徒が登壇しましたが、社会や探究の時間に自分で作成した動画を交えながら本校でしかできない学びについて紹介したり、入学した動機について触れたりしてくれました。また、広島市の平和活動に参加した女子生徒の英語によるスピーチが披露されました。そして、部活動紹介では、新体操部、バドミントン部、ソフトボール部、バスケットボール部、陸上部、ボルダリング部などが登壇し、それぞれの活動ぶりを紹介してくれました。きらきらとした輝きを放ちながらの発表ぶりに一人ひとりの成長を痛感しました。

19日(水)の中学集会では、OSでの様子から「中学生の成長が」とまらない”、その姿が”たまらない”と中学生の頑張りを評しました。まさに与えられた役割の中で、「Be Myself」、自分らしくその役割を達成しようとする生徒たちの姿が感動的でさえあったのです。こうした機会を通じて自分らしさに気づき、更には次のステップに向かってくれることを期待したいものです。

さて、校長になって6年目を迎えております。日々精進、不変の想いです。これまで生徒に対して(あるいは先生方に)、何事にも心構えをしっかりとしようとして全校朝礼や始・終業式等で伝えてきたことをまとめてみました。「8つのマインドセット(心構え)」です。

- 1 いい準備をしよう
- 2 読書をしよう
- 3 協創する人をめざそう
- 4 利他の心を持とう
- 5 礼儀(とくに挨拶)を大切にしよう
- 6 時間と友だちを大切にしよう
- 7 できない理由より、できる方法を考えよう
- 8 一流の人をめざそう

このマインドセットの根底にあるのは本校の建学の精神「報恩感謝・実践」です。生かされていることへの感謝、その気持ちを日々の実践にすることです。そして、中高6年間の多感で、成長著しいとき、何かの拠りどころにして欲しいという願いも含んでいます。

1~7まで、順番があるわけではありません。どれでもいいので何かの折に気づき、上手いかなかったことを機会に振り返り、心構えとして定着していくことが望ましいのです。こうして8の「一流の人をめざそう」に帰結します。それは「もの見方や考え方、実行の仕方が柔軟かつ強靭で、それに加えて謙虚さも持ち合わせている」という人をめざすことです。

押し付ける気は毛頭ありませんが、待ち受けている不確実で不安定な社会を「Be Myself」、自分らしく生き抜いていくために必要な力を支える「8つのマインドセット」でありたいと強く願っています。